



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社SUBARU

コード番号 7270 URL <https://www.subaru.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部総務部長 (氏名) 齋藤 勝雄 (TEL) 03-6447-8825

四半期報告書提出予定日 2017年11月9日 配当支払開始予定日 2017年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	1,686,309	6.9	212,125	1.7	212,726	△6.6	85,005	△48.1
2017年3月期第2四半期	1,577,652	△1.5	208,525	△26.9	227,772	△20.1	163,837	△15.2

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 94,941百万円(△21.6%) 2017年3月期第2四半期 121,133百万円(△36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	110.87	—
2017年3月期第2四半期	211.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	2,820,717	1,505,265	53.1
2017年3月期	2,762,321	1,464,888	52.8

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 1,498,021百万円 2017年3月期 1,458,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	72.00	—	72.00	144.00
2018年3月期	—	72.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	3,380,000	1.6	380,000	△7.5	382,000	△3.1	207,000	△26.7	269.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年3月期2Q	769,175,873株	2017年3月期	769,175,873株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2018年3月期2Q	2,453,318株	2017年3月期	2,490,224株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年3月期2Q	766,696,067株	2017年3月期2Q	776,466,176株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績などは今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件およびその他に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、為替変動に伴う売り上げの増加および自動車売上台数の増加などにより、1兆6,863億円と前年同期比1,087億円(6.9%)の増収となりました。

利益面につきましては、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加があったものの、為替変動および自動車売上構成の改善などにより、営業利益は2,121億円と前年同期比36億円(1.7%)の増益となりましたが、経常利益につきましては、2,127億円と前年同期比150億円(6.6%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、エアバッグ関連損失引当金として813億円の特別損失を計上したことなどにより、850億円と前年同期比788億円(48.1%)の減益となりました。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高	営業利益 (利益率)	経常利益 (利益率)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (利益率)	為替レート
2018年3月期第2四半期	1,686,309	212,125 (12.6)	212,726 (12.6)	85,005 (5.0)	111円/米ドル 125円/ユーロ
2017年3月期第2四半期	1,577,652	208,525 (13.2)	227,772 (14.4)	163,837 (10.4)	107円/米ドル 120円/ユーロ
増減	108,657	3,600	△15,046	△78,832	
増減率	6.9	1.7	△6.6	△48.1	

[セグメントの状況]

当第2四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高				セグメント利益			
	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	増減率	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	増減率
自動車	1,492,380	1,600,029	107,649	7.2	203,296	205,283	1,987	1.0
航空宇宙	66,766	68,009	1,243	1.9	3,599	4,174	575	16.0
その他	18,506	18,271	△235	△1.3	1,190	2,364	1,174	98.7
調整額	—	—	—	—	440	304	△136	△30.9
合計	1,577,652	1,686,309	108,657	6.9	208,525	212,125	3,600	1.7

(注) 1. 売上高は、外部顧客への売上高であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

① 自動車事業部門

国内につきましては、軽自動車の販売が前年同期を下回ったものの、登録車では「インプレッサ」および「SUBARU XV」の販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は8.2万台と前年同期比1.4万台(21.0%)の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場であります北米において「インプレッサ」および「フォレスター」の販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は44.9万台と前年同期比0.5万台(1.1%)の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は53.1万台と前年同期比1.9万台(3.8%)の増加となり、全体の売上高は、1兆6,000億円と前年同期比1,076億円(7.2%)の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、2,053億円と前年同期比20億円(1.0%)の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の地域別の連結売上台数は以下のとおりです。

(単位 台数：万台、比率：%)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	増減率
国内合計	6.8	8.2	1.4	21.0
登録車	5.2	6.7	1.5	28.2
軽自動車	1.6	1.5	△0.0	△3.0
海外合計	44.4	44.9	0.5	1.1
北米	35.5	36.4	0.9	2.4
欧州・ロシア	2.2	2.1	△0.1	△3.4
豪州	2.2	2.8	0.5	23.6
中国	2.2	1.4	△0.8	△36.4
その他地域	2.2	2.2	△0.0	△1.1
総合計	51.2	53.1	1.9	3.8

② 航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、新多用途ヘリコプター「UH-X」の契約に基づく開発本格化などにより、売上高は前年同期を上回りました。

民間向け製品では、「ボーイング777」の生産が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は680億円と前年同期比12億円（1.9%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、42億円と前年同期比6億円（16.0%）の増益となりました。

③ その他事業部門

売上高は183億円と前年同期比2億円（1.3%）の減収となりました。また、セグメント利益につきましても、24億円と前年同期比12億円（98.7%）の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

① 資産の状況

総資産につきましては、2兆8,207億円と前期末に比べ584億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の増加261億円、有形固定資産の増加238億円などです。

② 負債の状況

負債につきましては、1兆3,155億円と前期末に比べ180億円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務の減少532億円、1年内返済予定を含めた長期借入金の減少392億円、未払法人税等の増加126億円、エアバッグ関連損失引当金の増加813億円などです。

③ 純資産の状況

純資産につきましては、1兆5,053億円と前期末に比べ404億円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加302億円などです。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7,375億円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は2,078億円（前年同四半期連結累計期間は1,984億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上1,285億円、エアバッグ関連損失引当金の増加813億円などです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は1,014億円（前年同四半期連結累計期間は1,090億円の減少）となりました。主な要因は、定期預金の増加140億円、固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）760億円、投資有価証券の取得による支出（売却による収入との純額）118億円などです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は1,033億円（前年同四半期連結累計期間は1,167億円の減少）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）392億円、配当金の支払552億円などです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期通期の連結業績予想につきましては、2017年8月25日に公表いたしました連結業績予想に対し、為替レートの変動による影響などがあるものの、自動車売上台数の減少などが見込まれるため、下記のとおり修正させていただきます。

2018年3月期通期の連結業績予想値の前提となる為替レートは、1米ドル111円（前回公表110円）、1ユーロ128円（前回公表120円）となっております。また、下期の為替レートは、1米ドル110円、1ユーロ130円としております。

2018年3月期通期連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,420,000	百万円 410,000	百万円 410,000	百万円 228,500	円 銭 298.04
今回修正予想(B)	3,380,000	380,000	382,000	207,000	269.99
増減額(B-A)	△40,000	△30,000	△28,000	△21,500	—
増減率(%)	△1.2	△7.3	△6.8	△9.4	—
(ご参考)前期実績 (2017年3月期)	3,325,992	410,810	394,330	282,354	365.77

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,822	733,064
受取手形及び売掛金	158,454	152,094
リース投資資産	18,538	17,258
有価証券	320,579	272,426
商品及び製品	205,991	206,902
仕掛品	51,754	58,877
原材料及び貯蔵品	43,586	42,117
繰延税金資産	109,600	106,632
短期貸付金	176,433	181,257
その他	102,045	91,440
貸倒引当金	△551	△343
流動資産合計	1,845,251	1,861,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	178,464	190,340
機械装置及び運搬具(純額)	172,977	178,641
土地	183,477	184,127
賃貸用車両及び器具(純額)	11,609	25,099
建設仮勘定	45,416	42,893
その他(純額)	65,322	60,000
有形固定資産合計	657,265	681,100
無形固定資産		
その他	24,905	25,479
無形固定資産合計	24,905	25,479
投資その他の資産		
投資有価証券	105,510	119,319
退職給付に係る資産	931	230
繰延税金資産	20,922	20,619
その他	110,848	115,564
貸倒引当金	△3,311	△3,318
投資その他の資産合計	234,900	252,414
固定資産合計	917,070	958,993
資産合計	2,762,321	2,820,717

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,737	318,668
電子記録債務	92,098	69,939
短期借入金	43,205	31,680
1年内返済予定の長期借入金	44,443	31,611
未払法人税等	13,858	26,505
未払費用	221,328	221,615
賞与引当金	23,678	24,239
製品保証引当金	59,259	63,478
工事損失引当金	65	189
事業終了損失引当金	3,317	3,513
エアバッグ関連損失引当金	—	81,261
その他	162,750	176,419
流動負債合計	1,013,738	1,049,117
固定負債		
長期借入金	60,612	34,276
繰延税金負債	29,802	28,064
役員退職慰労引当金	536	442
退職給付に係る負債	18,615	19,641
その他	174,130	183,912
固定負債合計	283,695	266,335
負債合計	1,297,433	1,315,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,178	160,197
利益剰余金	1,173,277	1,203,525
自己株式	△7,173	△7,047
株主資本合計	1,480,077	1,510,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,099	10,099
為替換算調整勘定	△16,631	△10,910
退職給付に係る調整累計額	△10,996	△9,744
在外子会社のその他退職後給付調整額	△1,885	△1,894
その他の包括利益累計額合計	△21,413	△12,449
非支配株主持分	6,224	7,244
純資産合計	1,464,888	1,505,265
負債純資産合計	2,762,321	2,820,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	1,577,652	1,686,309
売上原価	1,126,735	1,192,083
売上総利益	450,917	494,226
販売費及び一般管理費	242,392	282,101
営業利益	208,525	212,125
営業外収益		
受取利息	1,490	2,692
受取配当金	445	522
持分法による投資利益	—	399
為替差益	22,316	5,751
その他	595	1,520
営業外収益合計	24,846	10,884
営業外費用		
支払利息	974	791
持分法による投資損失	155	—
デリバティブ評価損	1,857	7,748
その他	2,613	1,744
営業外費用合計	5,599	10,283
経常利益	227,772	212,726
特別利益		
固定資産売却益	290	155
投資有価証券売却益	9,918	630
その他	11	17
特別利益合計	10,219	802
特別損失		
固定資産除売却損	2,066	2,899
エアバッグ関連損失	—	81,261
その他	347	884
特別損失合計	2,413	85,044
税金等調整前四半期純利益	235,578	128,484
法人税等合計	70,921	43,043
四半期純利益	164,657	85,441
非支配株主に帰属する四半期純利益	820	436
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,837	85,005

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
四半期純利益	164,657	85,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,457	2,000
為替換算調整勘定	△39,926	5,884
退職給付に係る調整額	1,278	1,252
在外子会社のその他退職後給付調整額	295	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	286	373
その他の包括利益合計	△43,524	9,500
四半期包括利益	121,133	94,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,188	94,284
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	657

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	235,578	128,484
減価償却費	37,920	48,555
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△58	△178
受取利息及び受取配当金	△1,935	△3,214
支払利息	974	791
固定資産除売却損益(△は益)	1,776	2,744
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△9,581	△535
営業貸付金の増減額(△は増加)	1,226	△3,164
売上債権の増減額(△は増加)	5,264	4,034
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,917	△8,869
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,582	△54,292
未払費用の増減額(△は減少)	41,738	△409
エアバッグ関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	81,261
その他	26,500	37,413
小計	315,903	232,621
利息及び配当金の受取額	2,492	3,564
利息の支払額	△1,031	△862
法人税等の支払額	△118,989	△27,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,375	207,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△11,774	△14,001
有価証券の取得による支出	△45,081	△67,856
有価証券の売却による収入	24,894	71,597
固定資産の取得による支出	△67,629	△76,586
固定資産の売却による収入	715	627
投資有価証券の取得による支出	△20,382	△28,142
投資有価証券の売却による収入	31,734	16,359
貸付けによる支出	△69,077	△62,495
貸付金の回収による収入	53,903	60,278
その他	△6,269	△1,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,966	△101,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,329	△8,422
長期借入れによる収入	5,150	3,400
長期借入金の返済による支出	△12,792	△42,572
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△56,105	△55,154
その他	△55,243	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,661	△103,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,521	2,708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△52,773	5,771
現金及び現金同等物の期首残高	829,461	728,616
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△534
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	3,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	776,688	737,543

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 連結の範囲の重要な変更

ロビン アメリカ インク及びロビン ヨーロッパ GMBH インダストリアル エンジン アンド エクイップメントは、重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、決算日が連結決算日と異なるスバル オブ チャイナ LTD. については、四半期連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は2017年4月1日から2017年9月30日までの6ヶ月間を連結し、2017年1月1日から2017年3月31日までの損益については利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 特別損失の内訳は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

エアバッグ関連損失

乾燥剤が入っていないタカタ製エアバッグインフレーター(以下、「本エアバッグ」という。)に関する市場措置について、2018年3月期以降に実施予定である当社グループの本エアバッグに関する品質関連費用を計上したものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,492,380	66,766	1,559,146	18,506	1,577,652	—	1,577,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,427	—	2,427	11,954	14,381	△14,381	—
計	1,494,807	66,766	1,561,573	30,460	1,592,033	△14,381	1,577,652
セグメント利益	203,296	3,599	206,895	1,190	208,085	440	208,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,600,029	68,009	1,668,038	18,271	1,686,309	—	1,686,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,548	—	1,548	9,839	11,387	△11,387	—
計	1,601,577	68,009	1,669,586	28,110	1,697,696	△11,387	1,686,309
セグメント利益	205,283	4,174	209,457	2,364	211,821	304	212,125

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器事業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来報告セグメントとしていた「産業機器」については、2016年11月2日開催の取締役会において産業機器事業終了を決定したことに伴い、「その他」の区分に含めて記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。